

神山神社だより

令和6年4月

38号

■新年度を迎え

令和六年も早三カ月を過ぎようとしていきます。一月一日に発生した、能登半島地震、二日には飛行機事故と痛ましい事が起こり、円安、株価の高騰等などめまぐるしく社会情勢が動いています。生活するには良いに付け、悪くに付け、難しい時代になったなあと感じているのではないのでしょうか。神山神社では四月一日より新年度となります、その為、三月末で決算報告をして、来年の三月末までの計画を立て予算書を組んでいます。令和五年度につきましてはコロナ感染症が五類になった事で予定通り神社の運営が出来ました。これも町内会長を始めとする、氏子皆様のおかげであると感謝申し上げます。

令和六年度(新年度)につきまして、中津川市各神社においては、少子高齢化の影響により神社離れが進むなど取り巻く環境は厳しく神社の抱える多くの問題点があり

ます。それを解決すべく、神社関係者一同、対応をして行く方針でいきますので、氏子の皆様の御力と知恵をお借りし、進めてまいりたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。

■能登半島地震

一月元旦午後四時、思いもよらぬ地震が起きました。亡くなった方、未だ行方不明な方、家を失くされた方に対しましてはお悔みとお見舞いを申し上げます。

毎年、日本全国で災害が起こっている訳ですが今回の災害が元旦に起こった事で何かしらの啓示なのではないかと思ってしまう。普段の生活の中では自分のところは「大丈夫」と言う安易な思いがあつて他人事だと見過ごしてしまいがちですが、今回だけは違うようにに思えて仕方ありません。もし、此の地方で同規模の災害が起こったらどのような状態になるか、災害対策は出来ているのかを問うた

時に果たして「はい」と言えるでしょうか。

個人的には災害保険の再確認、避難グッズの点検、持ち出し確認等々の準備をしてみました。しかなかなか満足の行く用意が出来ないので頭を悩ませます。

これが神社となりますと古い建物が多くありますのでまずは耐震補強が出来ているか、建物共済の再確認、賠償保険の再確認、消火器の設置、など公益の建物として責任ある対応を心がけて、これから先も「転ばぬ先の杖」となるようして行きます。

■今年の例大祭(夏祭り)

今年も昨年同様、通常開催となります。

七月二十七日 宵祭り
七月二十八日 本祭り
今年の祭り当番地区

祭元 長根
富籤 川西
余興 元中組
注連縄 元野尻
行燈 植苗木
宜しく願ひします

※今年と来年にかけて注連縄を購入する案を二月四日お祭り会議にて提案したところ祭り当番地区

の町内会長の了承を得ることが出来ましたので、今年は大注連縄を二本と中注連縄一本を例大祭前に購入いたします。残りは当番地区の元野尻に作成をして頂きます。これにより来年より作成する事を止めますので御了承ください。購入する注連縄につきましては稲ワラでなく合成繊維となり架け放しても十年は持つそうです。今年の備品購入予算に注連縄購入分として二十三万を余分に計上します。翌年についても残りの注連縄を同等予算で購入します。



昨年の祭り風景



■ 榊山神社御神札・お守り



各家庭に頒付してまいります、神社の御神札ですが今年より作成仕入れ値の高騰により八百円から千円に値上げとさせて頂きます。毎年神社で頒布する御神札、お守り、授与品関係は十月に仕入れ業者から納品していただいておりますが昨年の仕入れ時点より二割から三割値段が高騰しました。以前の価格で今年の正月三ヶ日までは据え置いていただきましたが運営費が乏しくなる為、ご理解をお願いいたします。また、授与所で頒布するお守り等も順次、値上げを検討しておりますのでご理解の程、宜しくお願ひします。

■ 巫女舞クラブ

昨年九月一日に巫女舞クラブを發足しました。今までは榊山神社と高山区の常磐神社の祭り神事で巫女舞を踊っておりましたが、小学校統合により今後、福岡区だけ、高山区だけで舞子を募集する事が難しくなりました。その為、田瀬

区の田瀬神社、下野区の白山神社でも踊れるようにすることで募集がかけ易くなるとして巫女舞クラブを發足した次第です。

昨年は福岡区の舞子八名が田瀬神社と白山神社に出掛け「豊栄の舞」を神様の前で上手に踊ってくれて氏子の皆様から大変喜ばれました。舞子の小学生の子達も「最初はドキドキしたけれど度胸がつきました、また踊りたい」と言ってくれて、うれしく思います。

今年の四地区の祭りに、巫女舞が見られるよう巫女舞クラブの応援をお願いいたします。

※将来、子供達の要望があれば巫女舞以外の色々な踊りも取り入れても良いと思っています。



■ 伊勢の神宮 式年遷宮

日本の総氏神であり、伊勢神宮の式年遷宮に関連するお祭りが

来年、中津川市で行われる予定です。 ※まもなく日程が發表されます。

加子母の山中にて「御杣始祭(御

神木の伐りだし)」が行われ付知の

護山神社で「御樋代木奉送祭」、そ

して中津川市から桑名市の各地で

「御樋代木奉送」が行われます。

この中津川市は神宮の御用材を

伐り出す処であり、神様の御神体を

納める木(御樋代木)を扱います。

二十年(平成十七年)前、多くの人がこれに携り御神木を送り

出しました。

令和七年六月上旬頃、行われる予定ですので今年、中津川市を挙げて

詳細な計画が立てられ多くの方



のお手伝いしてもらおう事となります。お話があった際には協力、動員をお願いいたします。

■ 舞子並びに 舞子指導者募集

巫女舞クラブ主催

舞子

お祭りに巫女舞を踊る小学生、中学生を募集

※親御さんと体験してみてください

指導者

踊りを覚えて舞子を指導します 時間は応相談

※経験不問、二十才以上、手当あり

連絡先は宮司まで

安産祈願、初宮詣、厄除け、車のお祓い、七五三祝いの正式参拝の予約を承ります

お問合せ先

宮司 深谷 耕平

宅 ☎0573-72-2892